

■ 議題1のテーマ「これからの自然科学系研究者にとって、市民意識を捉えることは重要か。そもそも、市民意識は捉えられるのか。」という問いについて、お考えをお示してください。

- 市民意識を捉えることは重要である、と言いたくはある。
- しかし「自然科学系研究者」の枠組みは広く、分野によっては難しい。
 - 分野の発展段階が社会応用に近く、リスクと直結しうる分野に関しては喫緊性は高く、市民反応も顕著だろう。
 - しかしそれを全ての分野に敷衍できるかについては疑問。
- 社会との距離が遠い分野においては、市民意識を「役に立つ」「(科学は)面白い」という訴求の手がかりとして意識しすぎてしまう問題。
 - 「市民意識」というものの自体、前提を置かず把握すること不能。
 - →「科学のメディア化」にも直結しうる。
- そもそも自然科学系研究者が「市民とは何か?」「科学とは何か?」といった問いに取り組む機会がPI以前に無い限り困難な問い。
- (そして)そもそも我々のような介入者は「市民」を把握できていないのか?勝手に代弁していないか?という点には疑問が残る。